



『神奈川の塔』を知っていますか ～平和への誓いを次世代へ～

ともに明日へ



神奈川県知事  
 志保 祐治

先の大戦が終わって、68回目の夏が来ました。

私たちは、戦争の記憶を風化させることなく、亡くなられた方々が、かけがえのない命をもって示された戦争の悲惨さと平和の尊さを深く心に刻み、次の世代へしっかりと継承していかなければなりません。

『神奈川の塔』を知っていますか

沖縄本島摩文仁(まぶに)の丘。ここは、第二次世界大戦の末期、激しい地上戦となり、多くの方が犠牲になった場所です。この地に、南方諸地域で戦没された本県関係の方々を追悼し、平和を祈念する『神奈川の塔』があります。

先の大戦では、多くの方が祖国の平和と発展を願い、故郷の家族を案じながら命を落とされました。特に南方諸地域では長く激しい戦況となり、本県関係の方だけでも4万余人の方が犠牲になりました。

こうした歴史を伝え、平和への誓いを新たにするために、終戦20周年にあたる昭和40年11月に『神奈川の塔』が建立されました。

平和への誓いを新たに

塔の建立以来、毎年、ここで県主催の「神奈川県南方諸地域戦没者追悼式」を実施しています。昨年の式典には、私も出席し、犠牲となった多くの方々への哀悼の念を改めて表すとともに、今の豊かで平和な暮らしは、こうした先人の犠牲と労苦の上に築かれているのだということ、そして、この平和をこれからも守っていくのだという思いを、改めて強く心に抱いたところです。

県民運動として平和への誓いを次世代へ

しかし、『神奈川の塔』は、建立から50年近くが経過し、老朽化が進んでいます。塔本体や石畳などが損傷し、休憩所も建て替えが必要な状態です。このため、平成26年に改修整備を行うこととしました。

この『神奈川の塔』の建立の際には、総工費約1,000万円に対して700万円余りの寄付が寄せられました。まさに、県民すべての思いで戦没者を追悼し、平和を願って建てられた塔なのです。

しかし、残念なことに最近では『神奈川の塔』の存在そのものを知らない県民が増えています。

そこで、今回の改修にあたって、あえて県民の皆様へ寄付を呼びかけることとしました。寄付をお願いすることを通じて、『神奈川の塔』の存在をより多くの県民の皆様へ知っていただきたいと思ったからです。そして、先の戦争時に南方諸地域で多くの本県関係者が亡くなられた歴史の事実を伝え、二度と戦争を繰り返さない平和への誓いを次世代に継承していきたいと思えます。

私自身が先頭に立って、広く県民の皆様へ寄付を呼びかけてまいります。たとえ少額でもかまいません。たくさんの方のご協力をよろしくお願いいたします。



『神奈川の塔』についてのお問い合わせは、  
県生活援護課[電話]045(210)4903へお願いします。

[このページの先頭へもどる](#)

[県のたよりトップページへもどる](#)

神奈川県 県民局 暮らし県民部 広報県民課

〒231-8588 横浜市中区日本大通1  
[電話]045(210)3662[ファックス]045(210)8834  
[県のたよりに関する問い合わせフォーム](#)

---

神奈川県 このページの所管所属は [県民局 暮らし県民部 広報県民課](#) です。

---

[サイトポリシー・免責事項・著作権](#) | Copyright(C) -2010 Kanagawa Prefectural Government. All rights reserved.